

Exhibition

現代美術家 ジャン=リュック・ヴィルムートの意志を継ぐ展覧会

Espace de Réflexion

ー ジャン=リュック・ヴィルムートが伝えつづけた愛と学び ー

会期 2019年8月17日(土)～8月25日(日) 11:00 - 20:00

会場 スパイラルガーデン (スパイラル1F) 他



Jean-Luc Vilmouth 《Cafe Little Boy》(2014)Centre national d'art et de culture Georges-Pompidou (Paris)

スパイラルは、「^{エスバ}^{スド}^{ルフレクシ}オン —ジャン=リュック・ヴィルムートが伝えつづけた愛と学び—」を2019年8月17日(土)～8月25日(日)にスパイラルガーデン(スパイラル1F)にて開催いたします。

ジャン=リュック・ヴィルムート (Jean-Luc Vilmouth) は、「ヴェネツィア・ビエンナーレ」(イタリア/1982)、「ドクメンタ 7」(ドイツ/1982)といった主要な国際美術展で作品を発表し、そして、世界各地にパブリックアートの制作実績を残すなど、世界的に活躍したアーティストです。同時に1985年以降、フランスのグルノーブル市立美術学校、及びエコール・デ・ボザールにて教鞭をとり、生徒との議論の場を重んじ、多くの若い才能を世に送り出した教育者としての活動も高く評価されています。アーティストとして、教育者として、自由な発想と豊かな表現、そして深く柔らかな眼差しで多くの人々を魅了してきた同氏は、2015年に台湾にて急逝しました。

本展では、自らの作品コンセプトを「ただ見るだけの物を置くのではなく経験/体験の場を提供することが私の方法」と語っていた同氏の意志を引き継ぎ、展示・トーク・パフォーマンス・ワークショップなど多角的なアプローチで、人とアートが会う「場」をつくりだします。会場にはポンピドゥー・センター(フランス)のコレクションであり、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015」に展示された《Cafe Little Boy》を本展のために再構成して展示します。さらに、会場をアカデミーに見立て「学びとは何か、美術教育とは何か」をテーマに語り合うレクチャーや、エコール・デ・ボザールの現役学生によるパフォーマンスアート、公募で集まった20組の若手アーティストが円形の空間「アトリウム」で1時間作品を発表する「1時間だけの個展」など多様なプログラムで、ジャン=リュック・ヴィルムートが考察を続けた、人とアートの関係とその教育を、出展者、来場者が垣根を越えて考え、未来に繋ぐ機会を創出します。この機会にぜひ掲載のご検討をお願いいたします。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
 スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理
 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
 E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral.

展覧会にあたってのメッセージ

—— 2015 年冬、世界が美しく彩られる頃、彼は何の前触れもなく旅立ちました。人と人、モノとモノの関係性について多様な様式で表現してきた彼がしきりに口にしていたのは、人とアートとの関係、その教育についてでした。このことは彼に寄り添う人全員が共有する事項でした。哲学者、教育者、キュレーター、アーティスト、恋する人々。

才能のある若者に磨きをかけ、送り出す装置。国境や経済に左右されず、公平で自由な場。そんな「学校」のようなモノ、コトが必要なのではないか。こんな彼の問いを、彼に寄り添ってきた人々と展覧会の形で試行しよう考えました。

Watch your step、彼の言葉です。

岡田勉（スパイラル シニアキュレーター）

—— （中略）地平線のような他者とともに、ジャン＝リュック・ヴィルムートは独自の思索空間を創出しました。パリのエコール・デ・ボザールの自身のアトリエがそうであったように、世界や動物、未来、自然、そして不可視なもの等について、絶えず新たな問いかけが円（＝サークル）となっていきます。そして東京のスパイラルからパリのボザールへと、私たちは今回の展覧会のなかに、ささやくような、けれど執拗で、絶えることのなかった彼の思索を再び響かせたいと思います。

What do you think? あなたはどう思う?

Clélia ZERNIK（エコール・デ・ボザール教授）

主なプログラム

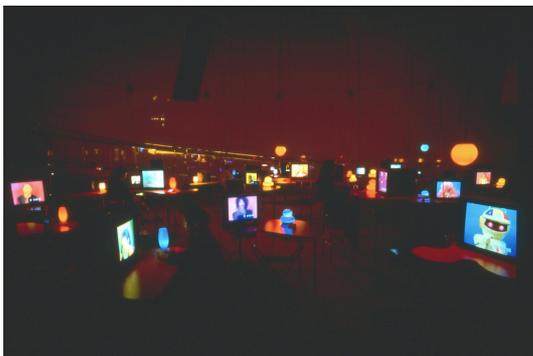
※プログラムは、変更となる場合があります。

本展は、展示、トーク、パフォーマンス、ワークショップなど、新たな気づきをもたらすきっかけとなるプログラムを、TOUCH、LISTEN、SEE、TELL の4要素で構成します。プログラムの最新情報、タイムテーブルは <https://www.spiral.co.jp/topics/spiral-garden/espace-de-reflexion> をご覧ください。

展示作品 <SEE & TOUCH>

展示期間：2019年8月17日（土）～8月25日（日）

原爆投下で大きな被害を受けた広島市立袋町小学校西校舎外壁に残された被爆者への伝言から着想された《Cafe Little Boy》を本展のために再構成した《Cafe Little Boy - Tokyo Edition》や1997年にスパイラルガーデンで開催した個展の出展作品で、自己への内観として他者との出会いが演出された《誘惑のバー》の一部を展示します。さらに作品アーカイブや映像で同氏の活動を振り返ります。



《誘惑のバー》(Bar Séduire) (1997) Photo: Katsuhiro Ichikawa



ジャン＝リュック・ヴィルムートの関連資料

トークプログラム <LISTEN>

ジャン＝リュック・ヴィルムートとゆかりのあるアーティストやキュレーターらによるトークや、次世代の美術教育を考えるレクチャーを開催します。

LECTURE / Spiral Schole for Kids アートの視点から考える「こどもとまなび」

子どもの学びとアートをテーマに、次世代の美術教育を考えます。

開催日時：8月17日（土）15:00～16:30

登壇者：井尻貴子（こども哲学おとな哲学アーダコーダ理事）、稲庭彩和子（東京都美術館学芸員 アート・コミュニケーション係長）、堀江由香里（社会起業家）、力石咲（アーティスト）

TALK / スペシャルトーク 1 ゲスト：安藤洋子（コンテンポラリーダンサー／振付家）

コンテンポラリーダンスの第一人者、ウィリアム・フォーサイスにその才能を認められ、国際的に活躍する安藤洋子。しかしその道は平坦ではなく、OLとして働いた後に、改めてダンス活動を再スタートさせています。夢を諦めず、世界に伍する力をつけるには？歩みと志について伺います。

開催日時：8月19日（月）19:00～20:00

TALK / スペシャルトーク 2 ゲスト：川俣正（アーティスト）

ジャン＝リュック・ヴィルムートの友人であり、エコール・デ・ボザール（パリ）では、教員として同僚でもあったアーティスト・川俣正。ジャン＝リュック・ヴィルムートとの関わりや思い出から、若きアーティストを育てる試みなどについて語ります。

開催日時：8月21日（水）19:30～20:30

LECTURE / 日本の美術教育はオワコンなのか！？次代を攻める手法とは

明治時代以降、日本では様々な手法で「美術」を学び、発展させてきましたが、思想や表現、アートマーケットでの活躍など、強化しなければならない課題を現在も美術大学は抱えています。日本の美術教育の在り方をアーティストやキュレーター、現職の美術大学教員らと共に議論します。

開催日時：8月24日（土）14:00～16:00

登壇者：椿昇（アーティスト） 他

LECTURE / 世界から学ぶ！若手アーティストを支援する仕組みと美術教育

各国大使館や文化機関の担当官が、自国における若手アーティストを育成する仕組みや文化政策、美術教育についてプレゼンテーションを行ないます。

開催日時：8月25日（日）13:00～

各国文化政策レクチャー：イスラエル、オランダ、スイス、フランス 他

パフォーマンス・ワークショップ <TELL>

子供を対象としたワークショップや、学生・若手アーティストによる来場者参加型のパフォーマンスを行ないます。

WORKSHOP / Spiral Schole for Kids こども哲学対話

正解のない問いについてグループで考える哲学対話を社会の中で実践的に活用するためのスキルやプログラムを提供する NPO 法人アーダコーダのファシリテーションを通じ、「学び」をテーマに子どもたちと対話します。

開催日時：8月17日（土）13:00～14:00

WORKSHOP & PERFORMANCE / Spiral Schole for Kids 声が溶け合う瞬間に 子ども合唱ワークショップ

音楽家・CANTUS（カントゥス）の太田美帆と一緒に子どもたちが合唱をするワークショップを実施、会場内でお披露目します。

開催日時：8月18日（日）11:00～14:30

PERFORMANCE & HAPPENING / エコール・デ・ボザールの学生によるプログラム

ボザールの学生たちやジャン＝リュック・ヴィルムートの教えを受けたアーティストが、同氏のアイデアから着想を得た多種多様なパフォーマンスを会期中毎日開催します。

開催日：8月17日（土）～8月25日（日） 随時

EXHIBITION / 1時間だけの個展

公募で集まった若手アーティスト 20組（予定）が、絵画、パフォーマンス、立体など多岐にわたるそれぞれの表現を1時間ずつスパイラルのアトリウムで発表する個展を開催します。本企画は、ジャン＝リュック・ヴィルムートの教え子で、アーティストである有吉修史考案によるプログラムです。参加者及びタイムスケジュールは、8月上旬に公式サイトにて発表します。

開催日：8月19日（月）～8月23日（金） 随時

プロフィール**ジャン＝リュック・ヴィルムート**

Jean - Luc Vilmouth (1952-2015) フランス・クレウツヴァルド生まれ

元エコール・デ・ボザール教授 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)を卒業後、80年代から「ヴェネツィア・ビエンナーレ」(1982)や「ドクメンタ7」(1982)など、数多くの国際展に参加。次第に公共空間や、作品の介入により変化する人と事物との関係、環境の変容に注目した作品を数多く制作するようになり、その表現方法はインスタレーションやパフォーマンス、映像作品など多岐にわたる。1997年にヴィラ九条山(京都)でのアーティスト・イン・レジデンス、個展「魅惑のバー」(スパイラル)の開催や、2003年越後妻有アートトリエンナーレに参加、松代に「カフェ・ルフレ」を作る。日本国内での活動も精力的に展開した。jeanlucvilmouth.com

開催概要**Espace de Réflexion —ジャン＝リュック・ヴィルムートが伝えつづけた愛と学び—**

会期 2019年8月17日（土）～8月25日（日） 11:00～20:00 会期中無休

会場 スパイラルガーデン（スパイラル1F） 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

入場 無料

お問い合わせ 03-3498-1171（スパイラル代表）

主催 株式会社ワコールアートセンター

企画制作 スパイラル

特別協力 エコール・デ・ボザール・ド・パリ

協力 かんらん舎、SIA 事務局（有吉修史、加納喜代美）、アンスティチュ・フランセ東京

後援 レザミ・ド・レコル・デ・ボザール・ド・パリ